

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム-塩化物温泉（弱アルカリ性 低張性 高温泉）

温泉成分の特徴： なめると塩味がする。肌についた塩分が放熱を防ぐので、保温効果が高く、湯冷めしにくい温泉です。

（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量： 43.1℃ 390ℓ/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H29.11.21）

浴槽の種類とその状況： 男女浴場

循環、かけ流しの状況： かけ流し式、一部循環式

（寒冷期のみ、浴槽に常に新しい温泉を注入しながら浴槽水を回収し、加温して再利用しています。）

加水の状況： なし

加温の状況： 寒冷期に加温しています。

新湯との入れ替わり状況： 2時間30分で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて、清掃の上、消毒を実施しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を使用しています。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。

※水質検査証は別に表示

平成29年11月21日

施設名 旅館 海の都

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会